市政記者クラブ、経済・金融記者クラブ同時配信

報道関係者 各位

北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

令和 2 年 11 月 25 日
アジア低炭素化センター
北九州市環境国際戦略課

日本初！？政令市のゆるキャラが海を越える。

北九州市のゆるキャラ・ていたんが、ナムカウキエン工業団地（ベトナムハイフォン市）からの要請にもとづき、同団地内に造成された日本庭園「共生の庭」に、ハイフォン市と本市の友好を示す記念モニュメント（石像）として設置されます。さらに、同庭園の設計及び施工管理は、市内の有限会社田代造園を親会社にもつ、株式会社 ZOUEN が担当しました。

（同工業団地内の日本庭園「共生の庭」完成イメージ図）

（設置されるていたん像）

※モニュメントの設計・設置にかかる費用は、同工業団地が負担します。

1　北九州市とナムカウキエン工業団地の関係

北九州市は、2014 年にハイフォン市と姉妹都市になって以降、ベトナム政府が推進するエコインダストリアルパーク（既存工業団地の環境配慮型化）構想を同市内に立地するナムカウキエン工業団地（総面積 263ha、入居企業 50 社（令和 2 年 11 月現在））で実現しようと、アジア低炭素化センターを通じて、環境技術の輸出やノウハウ提供で支援してまいりました。

2019 年 12 月には同工業団地、（一社）北九州エコタウンネットワーク、北九州市の 3 者で環境教育や環境技術輸出を柱とする MOU を締結しています。今後も、同工業団地での構想実現を目指し、環境省の JCM 事業や民間ファンドを活用しながら、環境配慮型の設備導入等、本市企業のもつ環境技術輸出のビジネス化を進めてまいります。

2　日本庭園 「共生の庭」 について

場所：ナムカウキエン工業団地内
広さ：約 2 ヘクタール
設計期間：2020 年 5 月～2020 年 8 月
施工期間：2020 年 8 月 1 日～2020 年 11 月 5 日

落成式：2020 年 12 月 1 日 16:30～19:30（現地時間）
施主：SHINEC 株式会社（本社：ベトナム）
設計及び施工管理：株式会社 ZOUEN が担当

「共生の庭」3 つのコンセプト

①環境との共生：滝と池、小川に流れる水や、植物に散水される貯水池の水は、ナムカウキエン工業団地内の工場から排出された後、排水処理場で処理され、無害化されたものです。また、植物に関してはベトナムの在来種を多く使用した庭園としています。これらの環境を守る取り組みについて学習するスペースとして、大規模な休憩舎を設置しています。

②市民との共生：周辺住民やナムカウキエン工業団地を訪れた方にとって、憩いの場、楽しみの場となる庭園としています。経済活動の場としてだけではなく、市民にとって愛される庭園を目指します。

③異文化との共生：ハイフォン市の姉妹都市であり、ナムカウキエン工業団地が環境技術面で連携する北九州市との友好関係を象徴する日本庭園としました。また、今回は、日本の文化を取り入れて頂きましたが、海外から多くの進出を受け入れるナムカウキエン工業団地の、異なる文化との相互理解を進める姿勢を表す庭園とします。

「共生の庭」は、歩いて見て回る回遊式庭園です。庭園内に整備された歩道や飛石に沿って、水辺や景石、様々な植物、記念モニュメントなどが配置され、歩きながら景色を楽しめる仕掛けとなっています。まだ、歩道沿いには、ベンチを多く配置し、ゆっくりと休憩しながら景色を楽しむことができるようになっています。

3　株式会社 ZOUEN について

設立：2020 年 3 月（ベトナムハイフォン市内）
親会社：北九州市の有限会社田代造園の子会社
設立経緯：田代造園で働いていた、第 1 期のベトナム人技能実習生（後に建設就労者）3 人がベトナムに帰国するタイミングで ZOUEN を設立。
事業内容：日本庭園に特化し、造園設計、造園施工を行う。

4　ていたんについて

愛称：「ていたん」低炭素社会をイメージして
特徴：鼻と口で「エコ」を表す。
北九州市の花「ひまわり」をあしらったバンダナがポイント。
出身地：北極
来北経緯：北極が地球温暖化の影響で氷が溶けはじめ、ふるさと北極と家族を守るために「環境モデル都市」の北九州市へやってきた。

お問合わせ先　　北九州市環境局　環境国際戦略課　アジア低炭素化センター　安武・有田
TEL：093－662－4020